　　　　　　　　　　　　平成３０年度

特定非営利活動法人　　自然回復を試みる会・ビオトープ孟子

総　　会

　　　　　　日時　　令和元年　６月１６日（日）　10:00～12:00

　　　　　　場所　　海南市わんぱく公園内工作工房

　　　　　　出席者（敬称略）

　　　　　　　　　　藤井和也、榎　晃秀、住野琇明、木原正晶、土橋　清、土橋雅子

　　　　　　　　　　北原敏秀、北原実恵子、有本　智

　　　　　　　　総会員数　　40名（令和元年5月会費納入者）

　　　　　　　　欠席委任数　17名（貝谷敏男、佐々木くにこ、中西徹、森全彦、山本功

　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本優愛、嶋田實、長崎純一郎、清水功高、丸嶋康行

　　　　　　　　　　　　　　　　　偉士大郁子、田渕利幸、樫尾弘子、山本昌寛、西居晴文

　　　　　　　　　　　　　　　　　江川公博、山田知恵子　以上敬称略）

　　　　　　　　　　　　　　　　　総　会　日　程（議題）

　　　　　　　　総会出席者　9名

　　　　　　議長　　　　　　理事　　　有本　智　　　㊞

　　　　　　議事録署名人　　理事長　　北原敏秀　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　　理事　　　北原実恵子　　㊞

1. 理事長挨拶
2. 議長選出
3. 議題
4. 平成３０年度事業報告について
5. 平成３０年度決算報告について
6. 平成３０年度監査報告について
7. 令和元（平成３１）年度事業計画について
8. 令和元（平成３１）年度予算案について
9. その他
10. 平成３０年度事業報告及び決算報告
11. 法人独自事業

　　　・第19回こがねぐも相撲大会INわんぱく公園　平成30年7月8日　 27名参加

　　　　　　　大会運営：県立向陽中学理科部

　　　・七草粥・小豆粥（わんぱく公園にて）　　　　平成30年1月5日　　48名参加

　　　・チームエナセーブ事業

ダンロップ田植え体験　　　　　　平成30年6月9日　　　　　 80名参加

　　　　　　住友ゴム工業株式会社と公益社団法人日本ユネスコ協会連盟により結成さ

　　　　　　れた「チーム　エナセーブ未来プロジェクト」の一環として、一般参加者、

ダンロップ、日本ユネスコ協会連盟併せて80名が参加され盛大に開催され

ました。

1. 助成事業

　Ⅰ、かんぽ生命フィランソロフィーバンク助成金

トヨタ環境活動助成プログラム

経団連自然保護基金

こどもゆめ基金

・未来遺産プロジェクト　県立向陽中学理科部

　　　　（テーマ）孟子不動谷のトンボ類調査

　　　　（実施内容）平成30年4月～平成31年2月の間１回/月のスパンで調査を行いました。

　　　　　　　　　　平成30年4月～平成30年11月・・・不動谷内でトンボ類の成虫調査

　　　　　　　　　　平成30年12月～平成31年1月・・・不動谷内でトンボ類の幼虫調査

　　　　　　　　　　平成31年1月～平成31年3月・・・向陽中学情報処理室で調査のデータ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　整理及び、第8回生物多様性フォー

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ラム発表用のＰＰＴ作成

　Ⅱ、　あいおいニッセイ同和損害保険株式会社ECO保険証券WEB約款寄付活動助成

　　　　トヨタ環境活動助成プログラム

* 1. 日本ユネスコ協会連盟プロジェクト未来遺産第8回生物多様性フォーラム

（開催日時）平成30年3月31日

　第1部

（会場）海南市孟子不動谷里山資料館　9：30～11：30

（参加者）53名

（開催内容）

　　・もうこさとやまようちえん　　観察感想発表

　　・わんぱくクラブＢコース　　　観察結果発表

　　・講師総評

　　　　＜講師＞　中央大学　鷲谷いづみ教授

未来遺産運動を開始して以来初めて、孟子不動谷現地で生物多様性フォーラムを開催

しました。「もうこさとやまようちえん」８名、「わんぱくクラブＢコース」１３名が

それぞれ１年間孟子不動谷で里山遊び＆自然観察を行った感想や顛末の発表を鷲谷い

づみ中央大学教授の前で発表しました。鷲谷教授は、子どもたちのはきはきとした発

表と、フォーラムの合間に子どもたちがとんぼ池で元気いっぱい網を振り回す姿に大

変感動されていました。

　第2部

（会場）和歌山県立自然博物館レクチャールーム　13：30～16：00

（参加者）45名

（開催内容）

((基調講演))

　　　　日本ユネスコ協会連盟の子どもたちの教育に関する取り組みについて

　　　　　　（講演者）日本ユネスコ協会連盟　川上千春事務局長

　生物多様性保全における子どもたちの役割について

　　　　　　（講演者）中央大学　鷲谷いづみ教授

　　((調査研究発表))

　　　　　　県立向陽中学校理科部（孟子不動谷トンボ類調査結果発表）

　　((パネルディスカッション～鷲谷先生、高須先生を囲んで～))

　　　　　　コーディネーター　有本　智（ビオトープ孟子）

　　　　　　パネラー　　　　　鷲谷いづみ氏（中央大学教授）

　　　　　　　　　　　　　　　高須英樹氏（県立自然博物館長）

基調講演の部では、（公社）日本ユネスコ協会連盟の川上千春事務局長に「日本ユネスコ協会連盟の子どもたちの教育に関する取り組みについて」、中央大学の鷲谷いづみ教授に「生物多様性保全における子どもたちの役割について」という演題でそれぞれ講演をしていただきました。

調査研究発表の部では、県立向陽中学校理科部の有井潤君（２年）、保田航平君（２年）、溝上幸太君（１年）、伊藤聡馬君（１年）の４名が、「孟子不動谷のトンボ類調査結果」についての調査研究結果発表を行いました。

パネルディスカッションでは、「孟子不動谷のトンボ類調査結果」を発表した向陽中学の

４名が登壇し、鷲谷教授＆高須館長とディスカッションを行いました。今回の４名は、それぞれに動植物に造詣が深く、それぞれ興味を持っている動植物についてのかなりアカデミックな質問が飛び交い、先生方もタジタジとなる場面もありました。また今回の４名は、それぞれ手帳を携帯してディスカッションに臨み、質問に答えてくれた先生方のコメントをしっかりメモを取っていたのが印象的でした。今回で８回目になる生物多様性フォーラムですが、先生の回答をしっかりメモしているのを見るのは初めてのことでした。

　Ⅲ、里地・里山環境保全推進事業認証団体への県助成

　　　平成２８年度に施行された「生物多様性和歌山戦略」の中の「里地里山保全」の取り組み

　　　の一環として、平成２８年１１月に施行された「里地・里山環境保全推進事業補助金交付

　　　要綱」に則った「里地・里山環境保全推進事業認証団体」としてビオトープ孟子が選出さ

　　　れました。認証団体は、平成２８年度（平成２８年１１月～平成２９年３月）から３カ年

　　　の間継続されます。今年度（平成３０年度）が最終年度です

　　（平成３０年度）

　　　　平成３０年度は、台風２１号の影響により一部崩壊した水田ビオトープを改修し、生物の

生息環境を保全するため、バックホーとトラクターをレンタルし、改修作業を行いました。

　Ⅳ、和みのむら活性化支援モデル事業

　　　孟子不動谷山間小池の復元による稲作水系復元事業（2018年4月～2021年3月の3年間）

　　　　孟子炭窯の西側にあるイノシシの蒐場になっていた部分を小池として復元しまし

　　　　た。今後、「きみひろ池」の改修等を行うことにより、孟子不動谷の稲作水系の復

　　　　元を行っていきます。

　Ⅴ、指定管理事業

　　　　(株)丸山組との業務連携により、海南市わんぱく公園の管理運営業務を行いました。

　　　　（業務期間）　平成３０年　４月　１日～平成３１年　３月３１日

　　　　　　　　（体制）　　顧問　　北原敏秀

　　　　　　　　　　　　　　園長　　有本　智

　　　　　　　　　　　　　　GM　　北原実恵子

　　　　　　　　　　　　　　事務職員　偉士大　郁子

　　　　　　　　　　　　　　植栽職員　山本昌寛、嶋田　實

　　　　　　　　　　　　　　NPO職員 樫尾弘子、土橋雅子、山鷲仁志

　　　　　　　　（業務内容）　公園施設の運営管理（建物設備管理、植栽管理等）

　　　　　　　　　　　　　　　イベント運営（定例イベント、自主イベントその他）

　　　　　　　　　　　　　　　わんぱく公園友の会運営

　　　　　　　　　　　　　　　わんぱくクラブ運営

　Ⅵ、和歌山県委託事業

　　　　（１）和歌山県環境学習アドバイザ委託事業（有本理事）

平成30年4月29日　 県立向陽中学校2年生遠足受入（孟子）

平成30年5月11日　 海南市立黒江小学校自然観察（わんぱく公園）

平成30年5月16日　 紀ノ国森づくり塾座学講師　（和歌山市民交流ｾﾝﾀｰ）

平成30年6月2日　　東貴志ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰほたる祭り講師（紀の川市）

平成30年6月8日　　北野上小学校フィールドワーク（孟子）

平成30年7月5日　　紀の川市立池田小学校座学（池田小学校）

平成30年7月12日　 有田川町立八幡小学校オオチャバネセセリ観察会

　　　　　　　　　　　（有田川町三田～蘭島～）

平成30年7月16日　 和歌山ユネスコ協会子どもキャンプ受入（孟子）

平成30年8月20日　 紀の川市立安楽川小学校河川の生物観察（安楽川小）

平成30年8月30日　 神戸土地改良区主催東貴志小学校河川の生物観察

　　　　　　　　　　　　（紀の川市貴志川町神戸）

平成30年9月19日　 北野上小学校川の生き物調査講師（孟子こも池水路）

平成30年9月29日　 海友会主催外国留学生受け入れ研修講師（四季の里）

平成30年11月6日　 海南市立北野上小学校フィールドワーク（孟子）

平成30年11月14日　和歌山県自然環境部会現地調査

　　　～　11月15日　安川渓谷～和田川渓周辺

平成31年1月13日　 和歌山県の人と自然をつなぐシンポジウムパネラー

　　　　　　　　　　　（橋本市民会館ホール）

平成31年3月11日　 和歌山県自然環境部会（和歌山県自治会館）

平成31年3月17日　 森の危険な動物たち講演（橋本ひだまりクラブ）

1. 下津蔵出しみかん日本農業遺産登録に向けての生物多様性調査（有本理事）

　　　　和歌山県より依頼があり、海南市下津町の「蔵出しみかん」の農業システムを日本

　　　　農業遺産に登録するための生物多様性調査の依頼を受け、現地調査を行いました。

　　　　　　　　平成30年5月9日　　　下津蔵出みかん圃場周辺の溜池調査

　　（３）未来遺産運動関連

　　　　①久保川イーハトーブ自然再生委員会未来遺産シンポジウム（有本理事）

　　　　　　当該シンポジウムで講演を行いました。

　　　　　（平成30年7月20日～22日）

②公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「プロジェクト未来遺産2018」登録

登録証伝達式・祝賀会出席（北原理事長・北原実理事）

　　　　　（平成31年2月9日～10日）

1. 和歌山県里地里山保全事業
   1. はしもと里山学校（橋本市柱本地区・有本理事）

　　　　　平成29年度に和歌山県里地里山環境保全登録団体にして選出された橋本市柱本地区で

活動している「はしもと里山学校」の環境調査を県自然環境室より依頼されました。有

本が現地で動植物調査するだけでなく、「はしもと里山学校」で毎週土日に既に活動し

ている中学生・小学生のグループ「いきものがかり」の皆さんと一緒にチョウ・トンボ

の調査を行いました。

　　　　　平成30年5月20日　　　　平成30年10月14日

　　　　　平成30年6月17日　　　　平成31年2月11日

　　　　　平成30年7月29日

　　　　　平成30年8月19日

* 1. 須佐しいやまクラブ（和歌山市口須佐～奥須佐地区・有本理事）

　　　　　　平成29年度に和歌山県里地里山環境保全登録団体に選出された和歌山市口須佐～奥

須佐地区で活動している「須佐しいやまクラブ」について、和歌山県自然環境室の依

頼により水辺ビオトープ構築のアドバイス及び平成30年度における地区全体の自然

環境調査を行うことになりました。

　　　　　　　平成30年6月3日　　　　平成30年11月18日

　　　　　　　平成30年9月2日　　　　平成31年2月10日

* 1. 和歌山県里地里山保全団体協議会関係（北原理事長・有本理事）

　　　　　　平成30年8月24日　　　　於）海南市わんぱく公園

　　　　　　平成31年1月25日　　　　於）ふるさと自然公園センター

Ⅶ、高野山奥ノ院御廟用黒炭焼き事業

　　同会・住野理事を中心に活動しています。「木の国協議会森林・山村多面的機能発揮対策交付

　　金」を活用しながら、地権者に伐採許可を得た不動谷内森林の間伐作業及び、林相のモニタリ

ング地点を設け、定期的な調査活動を行いました。上記活動の際に伐採したクヌギ、コナラ

アラカシ等の材は、御廟用黒炭の炭材として活用しています。

Ⅷ、緑の募金二次募集

　　海南市わんぱく公園内（風の丘周辺を中心）に、桜（エドヒガン）及び梅（シダレウメ）

　　の植樹を行いました。

　　平成31年3月24日

　　　わんぱくクラブＡの活動で植樹を行いました。

２、平成３０年度決算報告

　　別添資料を参照してください。

1. 平成３０年度監査報告

平成３０年度の監査報告をさせていただきます。

特定非営利活動法人自然回復を試みる会・ビオトープ孟子事務局において平成３０年度の出納関係の資料を下記日程にて確認したところ、内容について決算報告させていただいた内容と相違ありませんでした。

　　　　　　　　　　　　会計監査日　　令和元年　５月　１日

　　　　　　　　　　　　監査担当　　　監事　土橋雅子　　　　　　　㊞

４、令和元（平成３１）年度事業計画

1. 未来遺産プロジェクト　和歌山県立向陽中学理科部

　　　　今年度は、孟子不動谷のチョウ類の生息調査を行います。基本１回/月のスパンで行い記

録蓄積を行います。年度末及び年度当初には、生物多様性フォーラムでの発表を行います。

1. 法人独自イベント

　　もうこさとやまようちえん田植え体験　　　　　　令和元年6月9日

　　　　　今年度は、「もうこさとやまようちえん」の皆さんの田植え体験を行いました。

　　　　　１４家族の参加者で行いました。

　　　　第20回こがねぐも相撲大会　 令和元年7月7日 （於）海南市わんぱく公園

　　　　　大会の運営：和歌山県立向陽中学校理科部

1. 指定管理事業

（業務期間）　平成３１年　４月　１日～令和２年　３月３１日

　　　　　　　　（体制）　　顧問　　北原敏秀

　　　　　　　　　　　園長　　有本　智

　　　　　　　　　　　GM　　北原実恵子

　　　　　　　　　　　事務職員　偉士大　郁子

　　　　　　　　　　　植栽職員　山本昌寛、北原義則

　　　　　　　　　　　NPO職員 樫尾弘子、土橋雅子、山鷲仁志

　　　　　（業務内容）

　　　　公園施設の運営管理（建物設備管理、植栽管理）

定例イベント　毎週日曜13時　押し花、料理教室等　外部講師・公園職員

　　　　恒例イベント　毎週土日　　　ウルトラクイズ

　　　　　　　　　　　毎週土日　　　じゃんけんぽん　ビンゴゲーム大会

　　　　わんぱくクラブ運営（予）トヨタ環境活動助成プログラム・子どもゆめ基金

　　　　　（わんぱくクラブAチーム）構成員18名　毎週第4日曜日

　　　　　　　わんぱく公園内で、昆虫、両生爬虫類等を採取し、じっくり観察した上でスケッチ

を行います。また、昆虫図鑑等を使って自力で名前を調べたり、ものさしを使って

大きさをはかって記録したりすることで、文章読解能力や「書く力」を養います。

　　　　　（わんぱくクラブ中学生チーム）構成員2名　毎週第3土曜日

　　　　　　　令和元年度から新設したチームです。自然観察に興味のある中学生を募り、ライン

センサス法その他の動植物調査手法を交えた活動を行うことを目的にしています。

昨年まで「わんぱくＢ」に所属していた子と、２年前まで「わんぱくＢ」に所属

していた子の２名のみの応募だったので、向陽中学理科部の未来遺産調査日と同じ

日で活動しています。６月、９月、１１月に、県立自然博物館の学芸員を招聘し、

各自の調査活動の見識を深めてもらおうと考えています。

　　　　　（わんぱくクラブＢチーム）構成員19名　毎週第4土曜日

　　　　　　　平成２６年度から新設したチームです。未来遺産登録地・孟子不動谷で自然観察

　　　　　　　を行い、１年間の活動の感想を「生物多様性フォーラム」で発表することを目的

　　　　　　　として活動を行います。平成３０年度は、各自テーマを決めて標本を作製すること

　　　　　　　を目標に活動します。また、６月、９月、１１月に、県立自然博物館の学芸員を招

　　　　　　　聘し、各自の観察活動の見識を深めてもらおうと考えています。

　　　　　（もうこさとやまようちえん）構成員15名　毎週第2土曜日

　　　　　　　平成２７年度から新設したチームです。幼稚園児を対象に募集を行い、未来遺産

　　　　　　　登録地・孟子不動谷で自然観察を行うチームです。身近な自然環境である里山に

　　　　　　　触れ合い、そこに住む動植物と戯れる経験は、出来る限り幼い時期から始める方

　　　　　　　が効果が高いため新設しました。

　　　　わんぱく友の会運営　構成員69名

　　　　　　　今年度は、「タケノコ掘り体験」「じゃがいも掘り体験」「桃ジャム作り体験」

　　　　　　　「正月飾り作り」の４つの体験を行います。

1. 和歌山県委託事業
   1. 和歌山県環境学習アドバイザ事業
   2. 和歌山県環境審議会自然環境部会（自然環境部会委員・有本）
   3. 下津蔵出しみかんシステム日本農業遺産推進協議会（有識者・有本）
2. 高野山奥ノ院御廟用黒炭焼き事業

平成29年当初より、未来遺産登録地・高野山奥ノ院の御廟用黒炭焼きの事業が開

始されています。炭焼担当の榎　理事をはじめ10名の地元住民の方々がチームを

編成し対応中で、平成29年度からは木の国協議会主催の林野庁助成制度に、御廟

用黒炭材（クヌギ、アラカシ）の確保を視野に入れた3カ年の森林整備の事業を申請中

です。令和元年度も、引き続き活動を継続します。

1. 助成金事業

（交付決定分）

　・木の国協議会森林・山村多面的機能発揮対策交付金

　　　　　地域住民のみなさんがグループを作り、森林資源の活用や里山環境の改善を目的に

　　　　　活動することにより、よりよい地域づくりを支援する林野庁の助成制度です。

　　　　　平成２９年度の事業として、高野山奥ノ院御廟用黒炭焼き事業を行うチームによる

　　　　　御廟用黒炭材（クヌギ・アラカシ）の確保を視野に入れた3カ年の森林整備の事業

　　　　　を申請し採択されました。平成31（令和元）年度も、平成30年度に引き続き、事

　　　　　業継続をいたします。

　　　・コスモエコカード基金

　　　　　ニホンアカガエル（あかがえる科）、セトウチサンショウウオ（さんしょううお科）、

　　　　　等、希少な生物が多数生息し、日本ユネスコ協会連盟未来遺産運動の主要活動地であ

　　　　　る稲作水系エリア（水辺ビオトープ、無農薬水田、荒糸川、農業用水路）の復元及び

　　　　　保全を重機借用使用により行うことにより、稲作水系の生物多様性保全を実現すると

　　　　　ともに、未来遺産運動を行う子どもたちの主要な調査研究地として活用します。

　　　　　活動①　保全エリア及び薪炭林エリアの管理

　　　　　活動②　保全エリアのトンボ類モニタリング調査

　　　　　活動③　ニホンアカガエル卵塊調査

　　　　　活動④　未来遺産運動

　　　　　活動⑤　県立自然博物館学芸員の講師招聘

・トヨタ環境活動助成

　　　　　平成30年度に引き続き助成を受けます。未来遺産運動（もうこさとやまようちえん、

わんぱくＢ、わんぱく中学生、県立向陽中学校理科部）への講師派遣及び、水辺ビオト

ープのメンテナンス（圃場整備）に助成をいただきます。

　　　（申請中助成事業）

　　　　　子どもゆめ基金

　　　　　あいおいニッセイ同和損害保険株式会社ECO保険証券WEB約款寄付活動助成

　　　　　かんぽ生命フィランソロフィーバンク基金助成

1. 理事会　　　理事長が適宜理事会を招集します。
2. 実行委員会（役員・スタッフ・会員）

　　　　　理事長が適宜召集して開催します。

　　　　　原則として理事会の意味も包含します。

　　　　　（ただし、理事のみで議決を必要とする事項が発生したときには、理事長が別途理事

　　　　　　会を招集します。）

1. 総会　　　　令和２年度当初に開催します。

　５、令和元（平成３１）年度予算案について

　　　別添資料を参照してください。

６、その他

　　未来遺産登録地・孟子不動谷の今後について（北原理事長）

　　平成28年、和歌山県生物多様性戦略が施行されたことに伴い、平成29年度に募集

　　された和歌山県里地里山保全登録団体に応募し、登録番号：１で登録されました。

　　その後平成30年度から、和歌山県担当課である環境生活総務課自然環境室に里地里

　　山保全を継続していくための仕組みを作ることを目的とした「里地里山保全協議会」

　　の設立を提案し、平成30年度事業報告に記述のあるように、２度の会合を執り行い

　　ましたが、県自然環境室における当該事業の主担当であった岡田和久室長が定年退職

　　され、今後協議を継続することが困難な状況になりました。

　　それに替わる方策として今、県立自然博物館との協働の実現に向けて協議を行おうと

　　準備中です。前述の和歌山県里地里山保全登録団体のアドバイザーを鷲谷いづみ中央

　　大学教授と高須英樹和歌山県立自然博物館長がつとめており、その会議の席上で、鷲

谷教授が高須館長に「未来遺産登録地・孟子不動谷を、県立自然博物館の学芸員の研

究フィールドに」との提案をしてくださり、高須館長も前向きに検討を進めてくださ

っています。生憎現在、高須館長が病気療養中であり協議が停滞していますが、高須

館長が快癒された後、孟子不動谷の里山管理も含めた学芸員の研修フィールド化に向

けての協議を再開する予定です。